

西小山街づくりニュース

第20号

平成31年
3月発行

～災害に強く、賑わいや潤いのある街を目指して～

Topics!!

- ▶ 西小山周辺の現状と課題について確認しました
- ▶ 今後の活動テーマについて意見交換を行いました
- ▶ 原町一丁目7番・8番地区に関する情報提供がありました

コラム 西小山雑記帳 『クラフトヴィレッジ西小山』のご紹介！

西小山周辺の現状と課題について統計資料を基に確認しました

平成30年7月24日に行われた西小山街づくり協議会は、第50回の開催を迎え、これまでの積み重ねや西小山の街づくりを振り返る機会となりました。

西小山周辺（原町一・二丁目、洗足一丁目、目黒本町五・六丁目）の人口などの統計資料をコンサルタントがまとめ、昭和50年ごろから現在までの推移を確認することで現状の課題について話し合いました。（一部を2, 3頁で紹介）
そのほか、西小山駅前の原町一丁目7番・8番地区の街づくりについて状況説明があるなど、地域の新しい動きと共に、今後の協議会活動の進め方についても意見交換が行われました。



第50回協議会の様子

西小山の街づくりにおける現状と課題

○若者や単身世帯が多いことを統計資料により確認できたが、定住には結びついていないのではないかと？

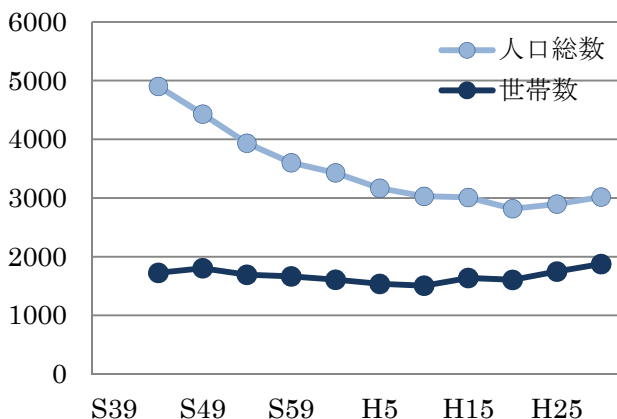
協議会活動としての課題

○地域の新しい動きがあるので、協議会や街づくりの場へ住民の参加を呼び掛けたい。

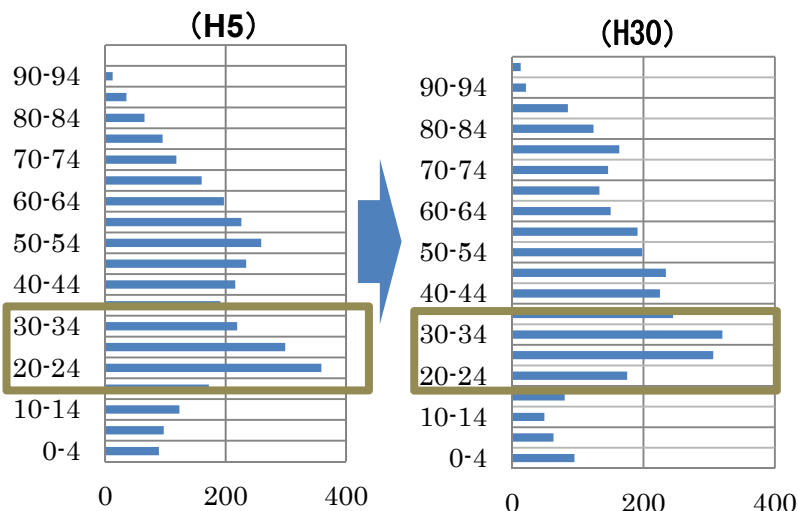
西小山周辺の人口推移からみる地域の特徴



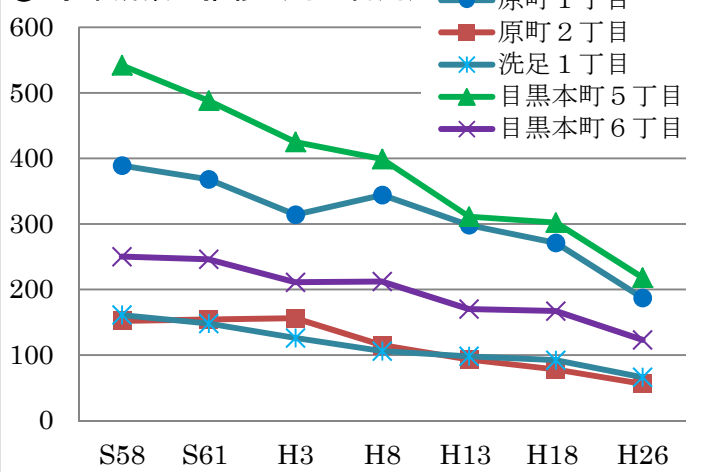
①原町一丁目の人口と世帯数の推移



②原町一丁目 年齢別人口

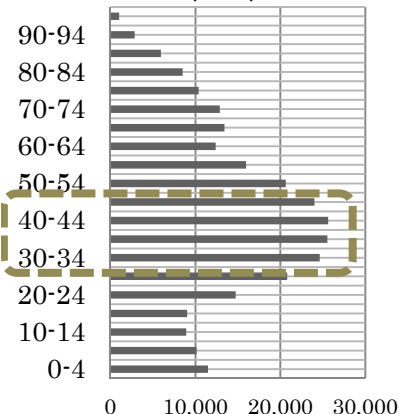


③ 事業所数の推移 (町丁目別)



● 人口と世帯数の変化を見ると、平成5年以降人口は横ばい・微増であるが、世帯数は増加している。単身世帯が増加しているといえる。

目黒区 年齢別人口 (H30)

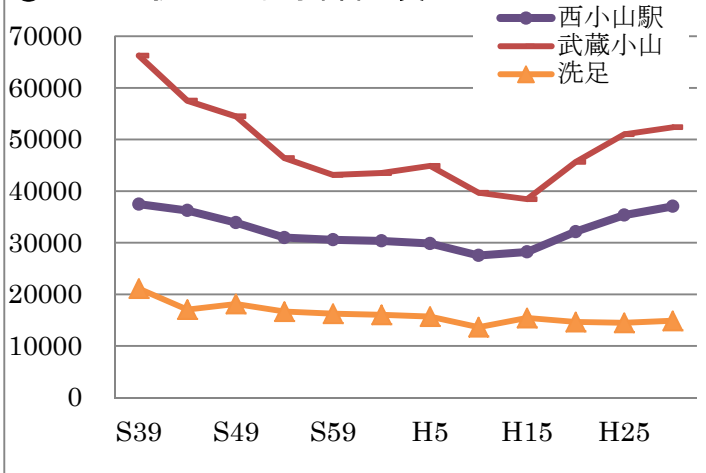


● 年齢別人口を見ると、目黒区全体と比較しても、原町一丁目では20～30代の占める割合が多い。平成5年にも同様の傾向が確認され、以前から若い人が多いことが分かる。

● 平成8年以降、原町一丁目の駅周辺の事業所数は減少しているが、西小山駅の利用者は増加している。都心に近い利便性が単身世帯の増加と関係しているものと考えられる。

● 原町一丁目の事業所数は平成8年を境に減少しているが、人口・世帯数は顕著な変化がみられない。原町は西小山駅に近く、商業より住宅としての利用価値が高まっているといえる。

④ 西小山駅 1日平均乗降人員



引用：目黒区HP / 目黒区事業所の実態

/ 東京都の統計 <http://www.toukei.metro.tokyo.jp/>

～第 50 回協議会で挙げられたご意見～

- 西小山は買い物に都合がよい上、若い人、結婚前の人には、丁度いい土地柄ではないか。
- 最近西小山が変わってきていると思う。これまでは、子供が生まれると転居していたが、最近は近くの保育園や学校に通わせているようだ。西小山で子育てできるような環境になり、以前より住みやすくなってきたのではないか。
- 原町一丁目は若い世代が多いようだが、この世代が西小山に定着していないと思う。原町一丁目には、流動的な人口が占めている。定住する人の増加が見込め、終の棲家を増やすための都市計画的な街づくり手法を考えないといけないだろう。

原町一丁目 7 番・8 番地区に関する情報提供がありました

平成31年2月27日開催の第51回協議会では、第50回協議会の内容を振り返った後、西小山駅前の原町一丁目7番・8番地区の街づくりについて情報提供及び意見交換が行われました。当地区では、防災性の向上と西小山駅周辺の賑わいの創出、住環境の改善を目的とし、「共同化エリア」と「街なか賑わいエリア」からなる防災街区整備事業を進めています。最近まで駐車場、駐輪場として利用されていたUR都市機構の保有地は、防災街区整備事業の「街なか賑わいエリア」を先行し、「クラフトヴィレッジ西小山」として新しい空間の利用が提案されています。これについて、UR都市機構及び株式会社ピーエイから計画内容について報告があり、5月のプレオープンに向けた進捗状況が説明されました。



第 51 回協議会の様子

その後、準備組合の事務局である首都圏不燃建築公社より、当地区における防災街区整備事業を活用した街づくり提案書の概要について情報提供がありました。

西小山駅前の街づくりが、防災街区整備事業によって動き出してきています。

～第 51 回協議会で挙げられたご意見～

○ご意見 ⇒それに対する回答

- クラフトヴィレッジ西小山の事業が10年間というが、どういう目安なのか。
⇒当面の目標として最低10年は取り組んでいきたいという事であり、今後の防災街区整備事業の進捗に合わせて検討していきたい。
- 地元の商店がテナントに入りたい場合には応募もできるのか？
⇒クラフトヴィレッジのコンセプトに、出店を希望するテナントの魅力が合致するのであれば、地元から応募もできる。今後も地元の商店街と連携していきたい。
- 具体的なテナントは決まっているのか。スケジュールの見込みは。
⇒プレオープンが5月、グランドオープンが7月頃になる予定である。現在、未契約であるが40%程、テナントが決まっている。

こうした情報は、協議会に参加することで得られます。皆さんの協議会への参加をお待ちしております！

街づくり協議会の参加者を募集しています！

西小山街づくり協議会は、災害に強く賑わいと潤いのある街づくりを住民全体で進めるために設立した団体です。原町一丁目の1番から19番地内で、土地・建物を所有している方、生活している方、事業を営まれている方ならどなたでも参加可能です。協議会では、地域の情報交換など通じ、街を魅力的にするための議論を重ねています。お気軽にご参加ください！

※街づくり協議会は委員制で運営しています。新たに委員として参加を希望される方は、下記事務局まで事前連絡をお願いします。



コラム 西小山雑記帳 - 2 -

西小山のまちづくりに関する人・モノ・出来事をご紹介します！

『クラフトヴィレッジ西小山』のご紹介！

西小山駅前のUR都市機構の保有地は、賑わいを生むエリア「クラフトヴィレッジ西小山」として、平成31年7月のオープンを目指し、計画が進行しています。事業を進める、株式会社ピーエイのクリエイティブディレクターの梶内氏にお話をお聞きしました。

「様々な人が集まる魅力的な“場”を創れたらと考えています。地域の商店街やテナントと連携し、チャレンジしながら事業を進めたいと思っています。西小山がより一層“素敵なまち”になる起点となり、地域の方々に愛される“場”となることを目標としております。」

クラフトヴィレッジ西小山には、ピーエイの方が常駐し、地域と連携していくそうです。原町一丁目7番・8番地区の街づくりが、目に見えて動きだしてきました。

西小山街づくり協議会事務局

街づくり協議会に関することや、街づくりに関する疑問、ご意見等ありましたら、事務局までご連絡ください。

(西小山街づくり協議会 事務局)
目黒区 街づくり推進部 木密地域整備課
担当 内田、飯田
電話 03-5722-9672 (直通)
FAX 03-5722-9239
E-Mail nishikoyama-kai@city.meguro.tokyo.jp

